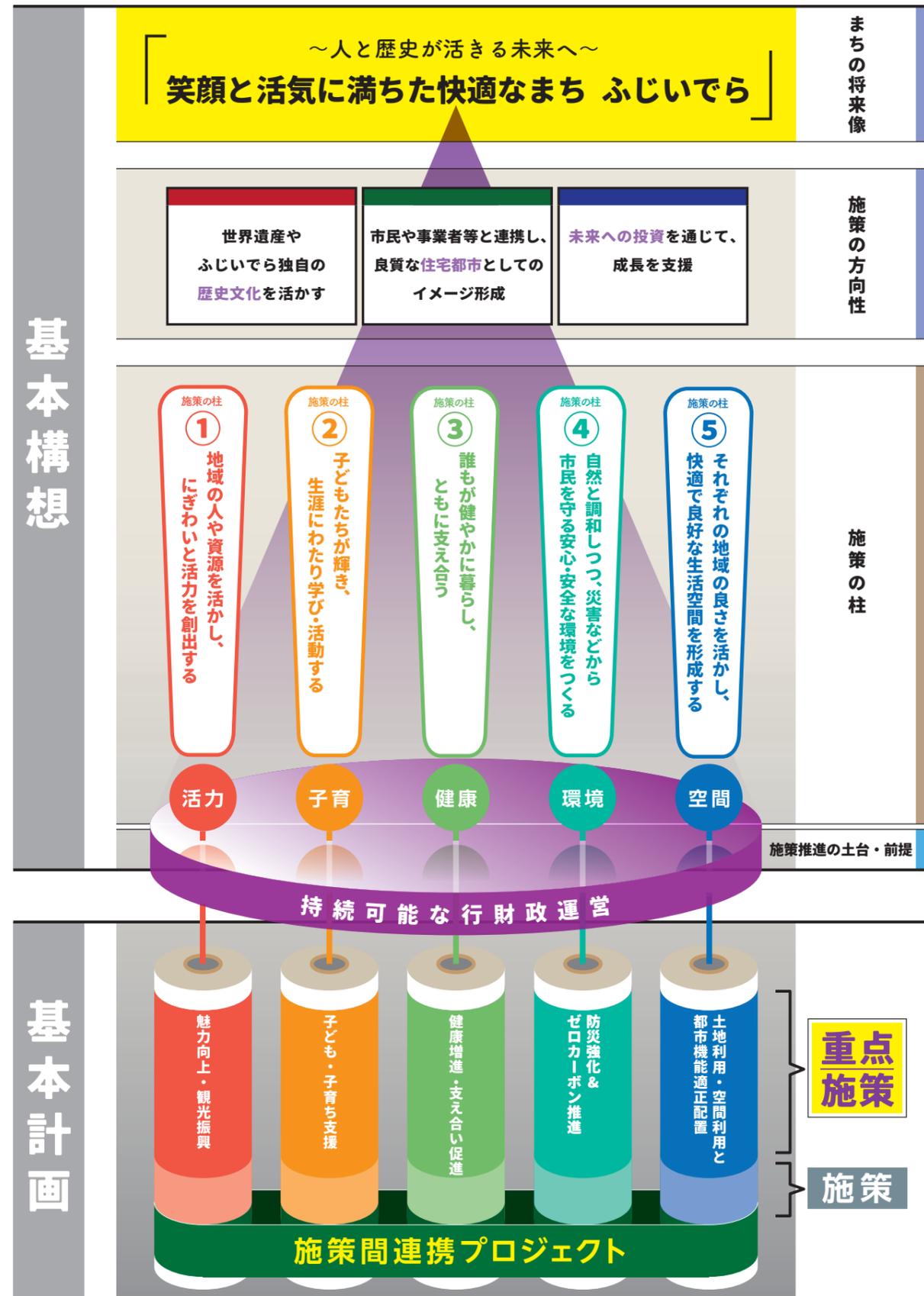


第六次藤井寺市総合計画の全体像

体系概念図



まちの将来像

施策の方向性

施策の柱

施策推進の土台・前提

重点
施策

施策

基本構想

基本計画



まちの将来像「～人と歴史が生きる未来へ～ 笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら」の実現を目指して、今後8年間は以下の体系により施策を推進します。

総合計画は、8年後を目指す「まちの将来像」、将来像を実現するための「施策の方向性」、施策の方向性を踏まえた5つの「施策の柱」とこれを支える「施策推進の土台・前提」を基本構想にとりまとめ、施策の柱ごとの具体的な施策の内容や、達成を目指す成果指標などを基本計画にとりまとめます。

まちの将来像

人口減少・少子化・高齢化が進む状況にあっても、にぎわいと歴史文化にあふれた住宅都市という、藤井寺市の魅力を活かして、市民がこのまちで暮らすことを誇らしく思うようなまちを目指してまちづくりを進めます。このことから、8年後の令和13年度に本市が目指すまちの将来像を、「～人と歴史が生きる未来へ～ 笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら」と掲げます。

笑顔

子どもから高齢者まで市民の誰もが心身ともに健やかに暮らし、子育て、教育、就労、介護などライフステージに応じて、歴史豊かで、落ち着きあるまちとしての安心を実感し、互いの違いを尊重しながら、ともに支え合うことのできる優しさと笑顔あふれるまちを目指します

活気

古墳群・神社仏閣等の歴史資産といった本市の魅力を最大限に活かして多くの人が訪れるまちとするとともに、市民がコミュニティやイベントを通じて、地域課題に対応するビジネスの創出や活発な交流ができるような、にぎわいとわくわく感あふれる大好きになるまちを目指します

快適

大阪都心部からの優れたアクセスや豊富な歴史資産という特徴を活かしつつ、ゼロカーボンで自然に優しい良好な環境づくりやデジタル技術の活用など、これまで以上に住みたく、住み続けたいような快適に生活を営むことができる居心地のいいまちを目指します

施策の方向性

まちの将来像の実現に向けて、今後どのような施策を実施していくかの考え方やスタンスを示すものとして、「世界遺産やふじいでら独自の歴史文化を活かす」「市民や事業者等と連携し、良質な住宅都市としてのイメージ形成」「未来への投資を通じて、成長を支援」という3つの施策の方向性を定めます。

世界遺産やふじいでら独自の歴史文化を活かす

葛井寺、道明寺天満宮をはじめとした神社仏閣、世界遺産古市古墳群などの歴史文化は、私たちのまちが誇る貴重な財産です。それらの価値の活用・発信を通じ、市民自らが魅力ある地域資源を再発見することで、まちへの愛着心を高め、まちのイメージアップ・知名度アップに取り組めます。本市を訪れる人々にも、まちなかを楽しみながら周遊してもらう、まちなか観光を促進し、市内の商業地域の活性化や市民の活力を高め、魅力あるまちづくりとまちなかにぎわいにつなげます。

市民や事業者等と連携し、良質な住宅都市としてのイメージ形成

都市イメージを向上させるためには、大阪市内への高アクセスだけでなく、歴史的な街並みを持つ、落ち着きのある良質な住宅都市としてのイメージを確立する必要があります。あわせて、市民一人ひとりのウェルビーイングを高めるための、快適な生活の実現に向けた支援も必要です。そのためには、市民や事業者等とともに、街並み景観の保全や市民マナーの向上、SDGsの推進、市民同士の支え合いの促進などに取り組めます。

未来への投資を通じて、成長を支援

開通予定の八尾富田林線沿道のまちづくりや、地域内での取引・消費の促進、事業者における販路開拓やDX促進による生産性向上に向けた支援などを通じ、まちの活性化と成長につなげます。また、未来を担う子どもたちへの投資として、GIGAスクール構想に代表されるデジタル技術の活用を含む様々な方法で、教育環境や子育て環境を整備し、生きる力を身に付ける環境づくりに取り組めます。

施策の柱、施策推進の土台・前提

3つの施策の方向性に基づいた取組の中核となる「施策の柱」を5つ定めます。また、施策の柱ごとに特に重要となる取組を「重点施策」として掲げます。5つの施策の柱を支える土台・前提として、持続可能な行財政運営が必要となります。これらについては次ページ以降に記載します。



施策の柱及び施策推進の土台・前提の概要

今後の取組の中核となる5つの施策の柱を定めるとともに、施策の柱ごとに特に重要となる取組を「重点施策」として設定しました。

施策の柱

① 地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する

本市の強みである豊かな歴史文化を活かし、まちの魅力向上と観光の振興に取り組み、市民・事業者・市等が連携を図りながら、商店街の活性化やコミュニティ活動の促進など、にぎわいあふれるまちを目指します。また、全ての人の人権が尊重され、多様な価値観を互いに認め合うとともに、地区自治会やまちづくり協議会等による市民主体のまちづくり活動を一層促進し、市民・各種団体・事業者と市が協力して取り組む「協働・共創」という視点で、地域の課題解決と活力あるまちを目指します。

重点施策 魅力向上・観光振興

▶ 世界遺産に登録された古墳群をはじめ、国宝や重要文化財を有する葛井寺・道明寺・道明寺天満宮などの神社仏閣、国史跡である国府遺跡などの歴史資産を保全・活用し、それらの価値を国内外に広く発信するとともに、国等の協力を得ながら史跡周辺の環境整備を進め、歴史文化の薫るまちとして内外から認知されるまちづくりを進めます。

▶ 市民や近隣住民の普段づかいを重視したまちなか観光コンテンツを充実させるとともに、2025年に開催される大阪・関西万博や大阪観光のプラスワンを意識し、本市のまちなかにある世界遺産や貴重な文化財の魅力を市の内外にアピールし、市民・事業者のまちへの愛着を育むとともに、来訪者との交流促進を目指します。

活力

施策の柱

② 子どもたちが輝き、生涯にわたり学び・活動する

子育て世代が夢と希望を持ち、安心して子どもを育み、子どもたちが自由に成長できるような子育て環境を整備することで、未来を担う子ども一人ひとりが個性や創造力を伸ばし、予測困難な将来の社会を生き抜く「生きる力」を育むことができるまちを目指します。また、生涯学習の促進、スポーツ・文化芸術活動の振興などを通じ、心身ともに豊かに暮らすことができるまちを目指します。

重点施策 子ども・子育て支援

▶ 子育てを支え、子どもたちがのびのびと育っていくことができるように、子どもの教育・保育環境の充実や、地域や社会が子育て世代に寄り添い、子育ての不安を軽減することを通じて、子どもも大人も孤立させない、子育てしやすいまちを目指します。

▶ 学校・家庭・地域との協働体制をより強く構築し、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、子どもが個に応じたきめ細かな教育を受けることで、確かな学力を身につけ、主体的で深い学びに取り組めるように、教育環境を整備します。

子育て

施策の柱

③ 誰もが健やかに暮らし、ともに支え合う

健康への意識が高まる中で、市民一人ひとりが健康で、住み慣れた地域の一員として、生きがいを持って生活が送れるまちを目指します。また、地域住民がお互いに支え合う地域福祉を通じて、将来にわたり、誰もが安心していきいきと暮らすことができるまちを目指します。

重点施策 健康増進・支え合い促進

▶ 本市における、国保加入者の特定健診の受診率が周辺市町村に比べて常に高い水準で推移している特徴を活かし、今後も、健診の受診勧奨や保健事業を積極的に推進し、市民の健康増進と健康寿命の延伸を図ることで、市民一人ひとりが健康についての意識を持ち、生きがいを持って、健康で長生きできるまちを目指します。

▶ 年齢や障害の有無に関わらず、住み慣れた地域で、心身ともに健やかで、自分らしく生き生きと暮らすことができるように、地域における福祉活動や団体等の認知度の向上、新たな担い手による地域福祉活動の活性化により、市民相互の支え合いの意識の向上を図るとともに、福祉関係機関等の連携に取り組みます。

健康

施策の柱

④ 自然と調和しつつ、災害などから市民を守る安心・安全な環境をつくる

自然災害をはじめ、感染症や事故・事件など、様々な危機事象が予期せず起こりうる社会において、適切かつ迅速な対応により市民の生命・身体・財産を守るまちを目指します。また、脱炭素化を進めることで安心・安全に暮らせる環境を次世代に受け継いでいくため、自然と調和した持続可能なまちを目指します。

重点施策 防災強化&ゼロカーボン推進

▶ 地震や集中豪雨などによる自然災害や感染症など、あらゆる危機事象に迅速に対応できる体制を構築するとともに、関係機関や関係団体と連携することで、被害を最小限に抑えることに努めます。火災をはじめとする様々な災害や事故の発生時などにも、適切で迅速に対応できる消防・救急救助体制の強化を図ります。

▶ 清掃活動や路上喫煙の禁止、各種公害対策などに取り組むことで、良質で安全な生活環境を整えるとともに、市民・事業者・市等が一体となって2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。

環境

施策の柱

5

それぞれの地域の良さを活かし、
快適で良好な生活空間を形成する

空間

コンパクトな住宅都市という特性を活かし、市民にとって快適でより住みよいまちとするために、時代や地域の状況に即した都市空間の形成を目指します。また、空き家の発生予防や活用促進に努めるとともに、市民生活の基盤となる道路環境や公園、公共下水道等の質の高いインフラ整備を進めることで、安全で快適なまちを目指します。

重点施策 土地利用・空間利用と都市機能適正配置

本市の特色である歴史性を感じる街並みとして、葛井寺や道明寺・道明寺天満宮周辺では、景観に配慮した整備を進め、駅から歴史資産や周辺の店舗等への回遊性向上を図るなど、魅力的な空間づくりと地域の活性化を目指します。また、都市機能施設の集約・複合化による市のコンパクトさを活かしたまちづくりを進めます。

道路を、車、歩行者にとって利用しやすい良好な状態に維持し、道路ネットワークの形成に取り組むとともに、本市にふさわしい、より利便性の高い公共交通を整備します。

施策を推進していくためには、その土台・前提として持続可能な行財政運営を実現する必要があります。

施策推進の土台・前提
：持続可能な行財政運営

今後、本市を取り巻く社会情勢が変化し、市民ニーズが複雑化・多様化していく中でも、持続可能な行財政運営を基礎としつつ、将来像を実現するためには、これまで実施してきた取組を単純に継続するのではなく、「選択と集中」の考え方にに基づき、メリハリをつけて取組を推進します。

また、取組の優先順位を明確化するだけでなく、徹底した歳出の削減・合理化やふるさと納税の活用等による行財政基盤の確立等による行政サービス提供の効率化を、着実に実施することで、持続可能な行財政運営の実現を図ります。



施策の柱	施策名	取組方針(主な取組)	SDGs
1 地域の人や資源を活かし、にぎわいと活力を創出する	1-1. 歴史文化の保存と活用 重点施策	世界遺産の保存と活用 史跡等の保護と継承 文化財情報の発信	4, 11, 17
	1-2. 観光の振興 重点施策	来訪者の利便性向上 観光拠点づくり 観光資源の魅力発信	8, 11, 17
	1-3. 商工業の振興	企業活動の活力向上 地域経済の拡大 多様なネットワークの形成	8, 9, 12
	1-4. 協働・共創の推進	協働・共創のまちづくりの推進 地域コミュニティの活性化 公民連携の促進	8, 11, 16, 17
	1-5. 人権・多様性理解の推進	人権教育・啓発・相談支援の推進 国際理解・多文化共生の推進 男女共同参画の推進	4, 5, 8, 10, 16
2 子どもたちが輝き、生涯にわたって学び、活動する	2-1. 子育て支援の推進 重点施策	就学前教育・保育の推進 子ども・子育て当事者の視点に立った取組の推進 子育て・子育てを支える環境づくり	1, 2, 3, 4, 5, 8, 10, 16, 17
	2-2. 学校教育の充実 重点施策	確かな学力の育成 個に応じた教育支援の推進 学校施設の計画的な整備	3, 4, 10, 16
	2-3. 児童・生徒、青少年健全育成の推進	放課後児童の居場所づくり 地域全体で支える体制の構築 体験や交流機会の充実	4, 17
	2-4. 生涯学習の推進	生涯学習推進体制の構築 魅力的な生涯学習講座の提供 図書館環境の整備	4, 10, 11, 17
	2-5. スポーツ、文化・芸術活動の推進	スポーツ振興事業の推進 ライフステージに応じたレクリエーション活動支援 文化・芸術に触れる機会の充実	3, 4, 10, 17
3 誰もが健やかに暮らし、ともに支え合う	3-1. 健康づくりの促進 重点施策	各種検診(健診)受診率の向上 ライフステージに応じた健康づくり支援 地域医療体制の確保	2, 3, 5, 17
	3-2. 地域福祉の推進 重点施策	地域福祉意識の醸成 市民相互の助け合いの推進 セーフティネットの推進	1, 3, 10, 17
	3-3. 障害児・者への支援	共生社会の実現に向けて 障害者雇用・就労の促進 切れ目のない相談・サービス提供体制の整備	3, 8, 10, 16, 17
	3-4. 高齢者への支援	地域包括ケアシステムの深化 高齢者の自己決定を支える体制づくりの推進 介護保険サービスと在宅サービスの充実	3, 10, 16, 17
	3-5. 社会保険制度の運営	国民健康保険事業の安定的な運営 福祉医療費助成制度の運用 後期高齢者医療制度の適正な運営	3, 10